

結核

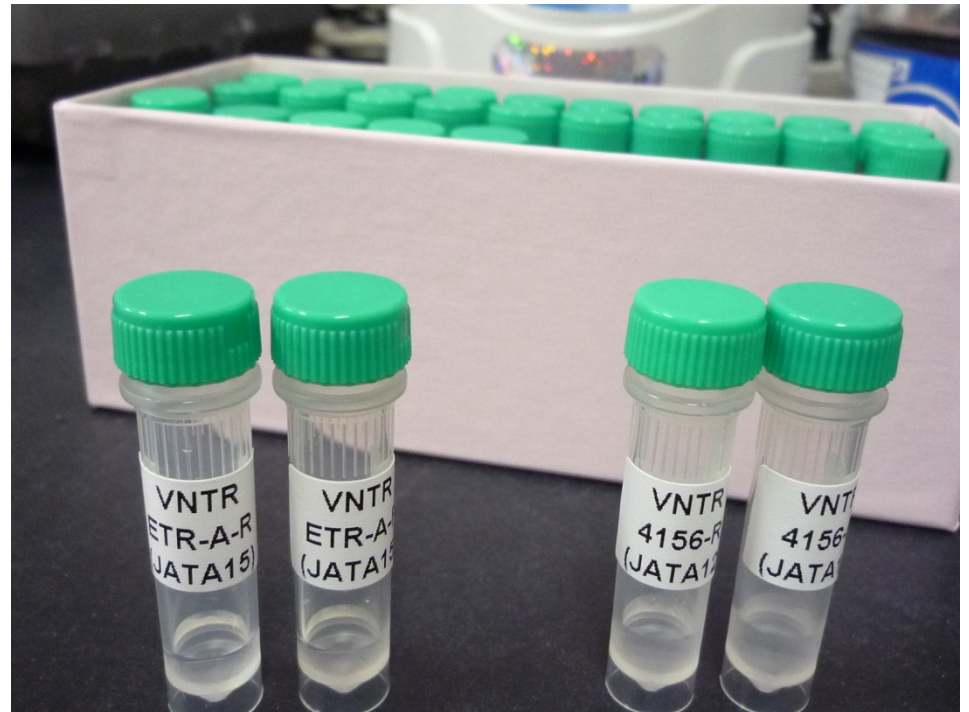
結核菌分子疫学解析

- 結核菌のGenotypingについては、基本的にVNTRによる解析を実施、継続する。
- 全てのブロックでVNTR実施関する技術研修を実施
- VNTRマニュアル作成
- 暫定的に12 loci (JATA 12)による解析キットを配布
- 必要に応じてLocusを追加して解析を実施している。

結核菌の型別(反復配列多型法)

VNTR法を利用した結核菌型別を全国的に普及するために平成22年度、VNTRスターターキット(ver.2)を配布した。

JATA(15)とhyper-variable(HV)用のプライマー(合計36本)



23年度は各施設からの要望に従い 以下のものを送付した

- 1. VNTR用ラダーマーカー 1 施設
- 2. スターターキット(ver.2) 1 施設
- 3. コピー数換算用標準DNA
- (4種類) 4 施設

結核菌分子疫学：今後の課題

- 地域分子疫学調査の実施状況
 - 自治体ごとに結核菌の分子疫学調査に対する関心が異なっており、実施状況が異なる。
 - 一部では当該調査を「研究」と認識しており、保健行政上のツールとして理解していない。
 - 衛生研究所等が中心となって、認識や技術の底上げが必要
 - 保健所等主導の行政調査でない場合、倫理指針等のハードルが高い。
 - 厚生労働省等の積極的勧奨が有用である可能性
 - 全国レベルでのデータベース構築は時期尚早か
- 全ての衛生研究所でVNTRを実施している訳ではない
 - 今年度、現状把握のため、実施状況に関するアンケートを実施する。